

## 第10章 その他

## 第10章 その他

### 1. 文献及び資料の出典

#### (1) 事業の目的及び内容等に係る文献及び資料

- 1) 札幌市環境局環境事業部「札幌市一般廃棄物処理基本計画スリムシティさっぽろ計画」(平成20年3月)
- 2) 札幌市環境局環境事業部「札幌市一般廃棄物処理基本計画スリムシティさっぽろ計画(改定版)」(平成26年3月改定)
- 3) 札幌市環境局環境事業部「平成26年度 清掃事業概要」(平成27年1月)
- 4) 一般社団法人札幌環境事業公社ホームページ「事業案内」
- 5) 札幌市環境局環境事業部ホームページ「清掃事業の概要 施設マップ」
- 6) 札幌市環境局環境事業部「札幌市一般廃棄物処理基本計画スリムシティさっぽろ計画年次報告書(平成26年度版)」(平成27年9月)
- 7) 札幌市環境局「さっぽろごみプラン21年次報告書<平成16年度版>」(平成17年7月)
- 8) 札幌市環境局環境事業部「札幌市一般廃棄物処理基本計画スリムシティさっぽろ計画(改定版)概要」(平成26年3月改定)
- 9) 公益財団法人廃棄物研究財団「ごみ焼却施設台帳【全連続燃焼方式編】平成21年度版」(平成23年3月)
- 10) 一般社団法人日本熱供給事業協会「地域熱供給導入事例」
- 11) 北海道地域暖房株式会社「会社案内」(平成23年3月)
- 12) 札幌市「札幌市緑の保全と創出に関する条例」(平成13年3月条例第6号)
- 13) 環境庁「自然環境のアセスメント技術(Ⅱ)」(平成12年9月)

#### (2) 事業実施区域及び関係地域に係る文献及び資料

- 14) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市の環境—大気・水質・騒音等データ集—」(平成16年度～平成25年度)
- 15) 日本気象協会「北海道の気候」(1964年)
- 16) 気象庁「地域気象観測所一覧」(平成26年12月)
- 17) 気象庁ホームページ「札幌管区気象台 過去の気象データ」
- 18) 札幌市建設局雪対策室計画課ホームページ「積雪深データ」(平成22年度～平成26年度)
- 19) 札幌市環境局「駒岡清掃工場の外気温測定結果」(平成25年度)
- 20) 札幌市環境局環境都市推進部「大気汚染物質の常時監視と測定結果」(平成26年度)
- 21) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市環境白書」(平成17年度～平成26年度)
- 22) 札幌市環境局環境事業部「検査年報」(平成22年度～平成26年度)
- 23) 札幌市環境局環境事業部「ダイオキシン類測定結果」(平成22年度～26年度)
- 24) 札幌市環境局環境都市推進部「施設一覧」(平成26年8月現在)
- 25) 社団法人ふる里公苑「真駒内滝野霊園拡張事業環境影響評価書」(平成17年5月)
- 26) 札幌市環境局環境都市推進部資料(平成26年8月現在)
- 27) 環境省水・大気環境局「よくわかる低周波音」(平成19年2月)
- 28) 札幌市環境局「白石清掃工場事後調査報告書」
- 29) 東京二十三区清掃一部事務組合ホームページ「各工場の環境調査結果(平成25年度)」

- 30) 「流動床都市ごみ焼却炉から排出される大気汚染物質」(大気汚染学会誌 1987 年 泉川ら)
- 31) (社)北海道土木協会「北海道河川一覧」(平成 7 年 9 月)
- 32) 札幌市建設局下水道管理部「札幌市河川網図」(平成 24 年 4 月)
- 33) 北海道環境生活部「生活環境の保全に関する環境基準の水域類型指定状況」  
(平成 26 年 3 月 25 日現在)
- 34) 国土交通省「水文水質データベース」
- 35) 北海道建設部「雨量・水位・流量年表」(平成 22 年)
- 36) 札幌市環境局「平成 8 年度 河川の汚濁負荷量調査業務報告書」(平成 9 年 3 月)
- 37) 札幌市建設局下水道河川部河川事業課ホームページ「札幌市の河川」
- 38) 北海道環境生活部「公共用水域の水質測定結果」(平成 21 年度～平成 25 年度)
- 39) 札幌市環境部環境都市推進部「河川水質常時監視業務(豊平川水系)」  
(平成 21 年度～平成 25 年度)
- 40) 札幌市環境局環境都市推進部「水遊び場水質調査結果」(平成 24 年度～平成 26 年度)
- 41) 札幌市環境局環境都市推進部「水遊び場水質調査地点」(平成 26 年度)
- 42) 札幌市環境局環境都市推進部「地下水提供用データ」(平成 21 年度～平成 25 年度)
- 43) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市内土壌含有量・溶出量データ」  
(平成 11 年度～平成 20 年度)
- 44) 札幌市環境局環境都市推進部「要措置区域台帳」(平成 26 年 9 月)
- 45) 国土庁土地局「土地分類図(土壌図)北海道 I (石狩・後志・胆振支庁)」  
(昭和 50 年)
- 46) 環境省「全国地盤環境ディレクトリ」(平成 24 年版)
- 47) 札幌市環境局環境都市推進部「精密水準測量成果表」(平成 26 年 8 月現在)
- 48) 一般社団法人デジタル放送推進協会ホームページ「放送エリアのめやす」
- 49) 札幌市都市局建築指導部「電波伝搬障害防止区域図」(平成 26 年 9 月現在)
- 50) 国土庁土地局「土地分類図(地形分類図)北海道 I (石狩・後志・胆振支庁)」  
(昭和 50 年)
- 51) 北海道立地下資源調査所「5 万分の 1 地質図幅 石山」(昭和 30 年)
- 52) (株)古今書院「日本の地形レッドデータブック第 1 集 新装版」(平成 12 年 12 月)
- 53) 日本地質学会北海道支部「北海道地質百選」(2008 年)
- 54) 北海道大学 岡 孝雄, 1997, 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題一  
付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察, 加藤誠教授退官記念論  
文集, pp427-449
- 55) (独)防災科学技術研究所「J-SHIS 地震ハザードステーション」(2014 年版)
- 56) 藤本一雄, 翠川三郎「近接間接点ペアの強震記録に基づく地盤増幅度と地盤の平均  
S 波速度の関係」日本地震工学会論文集, 第 6 巻, 第 1 号, pp. 11-22, 2006
- 57) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(精進川)」
- 58) 札幌市「札幌市地域別環境要素データベース(真駒内川)」
- 59) (株)環境管理センター「駒岡清掃工場周辺環境概況調査業務 調査報告書」  
(平成 26 年 3 月)
- 60) 札幌市立駒岡小学校「駒岡の大地 森のしづく札幌市立駒岡小学校開校 50 周年記  
念誌」(1999 年)
- 61) 環境省「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 石山」(平成 17 年)
- 62) 環境省「第 6 回・第 7 回自然環境保全基礎調査 植生調査 清田」(平成 17 年)

- 63) 環境庁「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 胆振・石狩・空知」(昭和 56 年)
- 64) 環境庁編「日本の重要な植物群落 北海道版」(昭和 55 年)
- 65) 札幌市「札幌市主要部植生図(現存植生図、潜在植生図、植生分級図)」(昭和 48 年)
- 66) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 13 号(1999 年度)」  
(2001 年 3 月)
- 67) (財)札幌市公園緑地協会「札幌市豊平川さけ科学館館報 第 14 号(2000 年度)」  
(2002 年 3 月)
- 68) 環境庁「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 北海道(胆振・石狩・空知)」(平成元年)
- 69) 環境庁「第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の自然景観 北海道版」(平成元年)
- 70) 札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課ホームページ「都市景観」
- 71) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市公園緑地図」(平成 23 年 4 月)
- 72) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌市の公園・緑地 平成 25 年度」(平成 25 年 11 月)
- 73) 札幌市環境局みどりの推進部ホームページ「公園検索システム」
- 74) 札幌市南区「南区ガイド&MAP」(平成 26 年 4 月)
- 75) 札幌市南区「札幌シーニックバイウエイ藻岩山麓・定山溪ルートスタンプラリーマップ」(平成 26 年 5 月)
- 76) 昭文社「スーパーマップル北海道道路地図 2014 年版」(平成 26 年 3 月)
- 77) 環境庁「自然環境のアセスメント技術(Ⅱ)」(平成 12 年 9 月)
- 78) 札幌市南区「南区ウォーキング MAP」(平成 23 年 6 月)
- 79) 札幌市建設局総務部「さっぽろサイクリングマップ」(平成 19 年 3 月)
- 80) (社福)札幌市福祉事業団ホームページ「くつろぎの宿 札幌市駒岡保養センター」
- 81) 札幌市立駒岡小学校ホームページ「札幌市立駒岡小学校ー自然は友だちー」
- 82) 札幌市市長政策室「札幌市統計書 平成 25 年版」(平成 26 年 3 月)
- 83) 札幌市市長政策室ホームページ「国勢調査 小地域集計結果」(平成 17 年、平成 22 年)
- 84) 札幌市市民まちづくり局地域振興部「札幌市町名・住居表示実施区域図」  
(平成 25 年 10 月)
- 85) 札幌市市民まちづくり局市民自治推進室「町内会・自治会世帯数調査表  
(連合町内会別)(南区芸術の森地区連合会)」
- 86) 札幌市南区市民部「芸術の森地区 安心・安全マップ」(平成 25 年 3 月)
- 87) 北海道総合政策部「北海道統計書 平成 27 年」(平成 27 年 3 月)
- 88) 札幌市市民まちづくり局都市計画部「都市計画決定の一覧」(平成 26 年 8 月)
- 89) 札幌市市民まちづくり局都市計画部ホームページ「都市計画情報提供サービス」
- 90) 札幌市市民まちづくり局都市計画部「地区計画決定状況一覧」
- 91) 国土交通省水管理・国土保全ホームページ「水辺の楽校登録箇所一覧」
- 92) 真駒内川水辺の楽校ホームページ
- 93) (社)北海道土木協会「普通河川水利権調書」(平成 13 年 3 月)
- 94) (社)北海道土木協会「一級水系水利権調書」(平成 13 年 11 月)
- 95) 札幌市環境局環境都市推進部「揚水施設一覧」(平成 26 年 8 月現在)
- 96) 北海道開発局「平成 11 年度 全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)一般交通量調査箇所別基本表」(平成 13 年 6 月)
- 97) 北海道開発局「平成 17 年度 全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)一般交通量調査箇所別基本表」(平成 19 年 9 月)

- 98) 国土交通省「平成 22 年度 全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）一般交通  
量調査箇所別基本表」（平成 24 年 12 月）
- 99) 札幌市企画調整局「交通量調査集計結果表」（平成 6 年～平成 16 年）
- 100) 札幌市市民まちづくり局「交通量調査集計結果表」（平成 19 年度～平成 25 年度）
- 101) 札幌市教育委員会「札幌市立学校・幼稚園一覧」（平成 26 年 4 月）
- 102) 北海道教育委員会「平成 26 年度 特別支援教育」（平成 26 年 10 月）
- 103) 札幌市保健福祉局保健所「医療機関名簿（南区）」（平成 26 年 4 月）
- 104) 札幌市保健福祉局保健所「社会福祉法人一覧」（平成 26 年 4 月）
- 105) ゼンリン「住宅地図 札幌市南区」（平成 26 年 7 月版）
- 106) 札幌市建設局下水道管理部「公共下水道の供用及び処理開始告示区域図その 2」  
（平成 25 年 11 月）
- 107) 北海道環境生活部「北海道環境白書'14」（平成 26 年 11 月）
- 108) 環境省「生物多様性情報システム 日本の自然保護地域 自然保護各種データ一覧」
- 109) 北海道環境生活部「環境緑地保護地区一覧表」（平成 23 年 4 月）
- 110) 北海道環境生活部「平成 26 年度 鳥獣保護区等位置図」（平成 26 年 8 月）
- 111) 北海道保健環境部「北海道自然環境保全指針」（平成元年 7 月）
- 112) 札幌市「札幌市規制緑地図」（平成 15 年 4 月）
- 113) 札幌市環境局みどりの推進部「札幌しみどりの基本計画」（平成 23 年 3 月）
- 114) 札幌市南区役所「南区のあゆみ」（昭和 57 年 4 月）
- 115) 駒岡団地町内会「駒岡団地周辺 世紀を越えて」（平成 14 年 3 月）
- 116) 唐木田真「三反百姓小倅の足跡」（昭和 51 年 9 月）
- 117) 札幌市観光文化局「札幌の文化財」（平成 23 年 2 月）
- 118) 札幌市埋蔵文化財センター「札幌市埋蔵文化財包蔵地分布図」（平成 26 年 1 月）
- 119) 空知総合振興局札幌建設管理部「札幌建設管理部の状況」
- 120) 北海道建設部「北海道土砂災害警戒システム 土砂災害警戒区域等指定状況」  
（平成 26 年 9 月）
- 121) 札幌市危機管理対策室「南区芸術の森地区町内会連合会 真駒内駒岡町内会  
土砂災害危険箇所図(1/2, 2/2)」
- 122) 札幌市防災会議「札幌市地域防災計画【土砂災害対策】」（平成 26 年 3 月修正）
- 123) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市環境基本計画」（平成 17 年 3 月）
- 124) 札幌市環境局環境都市推進部「生物多様性さっぽろビジョン」（平成 25 年 3 月）
- 125) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市水環境計画」（平成 15 年 10 月）
- 126) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市温暖化対策推進計画」（平成 13 年 5 月）
- 127) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市温暖化対策推進計画（改定版）」（平成 19 年 3 月）
- 128) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市温暖化対策推進ビジョン」（平成 23 年 10 月）
- 129) 札幌市環境局環境都市推進部「札幌市温暖化対策推進計画」（平成 27 年 3 月）
- 130) 札幌市市長政策室政策企画部「札幌市まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>  
（平成 25 年度～34 年度）」（平成 25 年 6 月）
- 131) 札幌市市長政策室政策企画部「札幌市まちづくり戦略ビジョン<戦略編>  
（平成 25 年度～34 年度）」（平成 25 年 10 月）
- 132) 札幌市環境局環境事業部「札幌市一般廃棄物処理基本計画さっぽろごみプラン 21」  
（平成 12 年 3 月）
- 133) 札幌市環境局環境みどりの推進部「札幌市緑の基本計画」（平成 11 年 6 月）
- 134) 国土交通省「第 7 版 都市計画運用指針」（平成 26 年 8 月）

- 135) 札幌市まちづくり政策局都市計画部「札幌市都市計画マスタープラン」(平成 28 年 3 月)
- 136) 国土交通省「政策課題対応型都市計画運用指針」

### (3) 調査、予測及び評価の手法に係る文献及び資料

- 137) 「道路環境影響評価の技術手法(平成 24 年版)」(平成 25 年国土交通省国土総合政策研究所)
- 138) 「札幌市環境影響評価技術指針」(平成 12 年 5 月)
- 139) 「地上気象観測指針」(平成 14 年気象庁)
- 140) 「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」(平成 18 年環境省)
- 141) 「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和 53 年環境庁告示第 38 号)
- 142) 「大気汚染に係る環境基準について」(昭和 48 年環境庁告示第 25 号)
- 143) 「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」(平成 20 年 3 月環境省)
- 144) 「大気汚染防止法施行規則」(昭和 46 年厚生省・通商産業省第 1 号)
- 145) 「高層気象観測指針」(平成 8 年 気象庁)
- 146) 「ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル」(昭和 61 年厚生省)
- 147) 「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年環境庁告示)
- 148) 「振動規制法施行規則」(昭和 51 年総理府令)
- 149) 「人が振動を感じ始めるとされる感覚閾値」(「新・公害防止の技術と法規 2010 騒音・振動編」(平成 22 年、(社)産業環境管理協会))
- 150) 「低周波音問題対応の手引書」(平成 16 年 6 月環境省環境管理局)
- 151) 「低周波音の測定方法に関するマニュアル」(平成 12 年 10 月環境庁大気保全局)
- 152) 「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法」(平成 7 年環境省告示)
- 153) 「高層気象観測指針」(平成 8 年 気象庁)
- 154) 「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和 46 年環境庁告示第 59 号)
- 155) 「面整備事業環境影響評価技術マニュアル」(平成 11 年建設省都市局都市計画課監修)
- 156) 「環境アセスメントの技術」(平成 11 年 8 月社団法人環境情報科学センター)
- 157) 「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル方法)」(平成 22 年 3 月社団法人日本 CATV 技術協会)
- 158) 「建造物障害予測の手引き(地上デジタル放送)」(平成 17 年 3 月(社)日本 CATV 協会)
- 159) 「自然環境アセスメント技術マニュアル」(1995 年 9 月(財)自然環境研究センター)
- 160) 「平成 18 年度版河川水辺の国勢調査 基本調査マニュアル(河川版)」(2007 年 3 月国土交通省河川局河川環境課)
- 161) 「札幌市潜在自然植生図」(昭和 48 年 札幌市環境局緑化推進部)
- 162) 「文化財保護法」(昭和 25 年法律第 214 号)
- 163) 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年法律第 75 号)
- 164) 「北海道文化財保護条例」(昭和 30 年北海道条例第 83 号)
- 165) 「北海道希少野生動植物の保護に関する条例」(平成 13 年北海道条例第 4 号)
- 166) 環境省(2012)「第 4 次レッドリスト(植物(維管束植物))」
- 167) 北海道(2001)「北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001」
- 168) 札幌市(2016)「札幌市版レッドリスト」
- 169) 環境省(2012)「第 4 次レッドリスト(哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝

- 類、その他無脊椎動物（クモ形類、甲殻類等）」
- 170) 環境省(2013)「第 4 次レッドリスト(汽水・淡水魚類)」
  - 171) 環境省(2002)「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー 2 鳥類」
  - 172) 環境省(2003)「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー 4 汽水・淡水魚類」
  - 173) 環境省(2006)「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー 5 昆虫類」
  - 174) 環境省(2005)「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー 6 陸・淡水産貝類」
  - 175) 環境省(2006)「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー 7 クモ形類・甲殻類」
  - 176) 北海道(2001)「北海道レッドリスト【両生類・爬虫類編】改訂版(2015年)」
  - 177) 「周辺建築物の影響を考慮した大規模建築物から受ける圧迫感と許容限界値に関する研究」(日本建築学会大会学術講演梗概集、1990年10月、日吉聰一郎、武井正昭)

## 2. 用語集

## (1)大気質・気象

用語	説明
デポジットゲージによる捕集法	降下ばいじんを測定する方法の一つ。大気中の汚染物質中、自重により、又は雨とともに沈降するばい煙、粉じん、そのほかの不純物を漏斗に受け、連結管によってビン(デポジットゲージ)に捕集し測定する方法。
ダストジャーによる捕集法	降下ばいじんを測定する方法の一つ。ポリエチレン等の円筒容器(ダストジャー)に降下ばいじんを捕集し測定する方法。
吸光光度法	窒素酸化物測定法の一つ。吸収液(ザルツマン試薬)を用い、試料大気中に含まれる一酸化窒素と二酸化窒素を同時に連続測定する方式。光が溶液中を透過するとき、溶質による光の吸収を分析機器によって定量的に測定し、これによって試料中の溶質濃度を求める方法。
化学発光法	窒素酸化物測定法の一つ。試料大気中の一酸化窒素とオゾンの反応によって生ずる化学発光強度が、一酸化窒素濃度と比例関係にあることを利用して、試料大気中に含まれる一酸化窒素濃度を測定する方法。二酸化窒素を測定する場合は、試料大気をコンバータに通して測定した窒素酸化物濃度からコンバータを通さない場合の測定値(一酸化窒素濃度)を差引いて求める。
重量濃度測定法	浮遊粒子状物質測定法の一つ。大気中の粒子状物質を濾紙に濾過して捕集することにより、その重量濃度を直接求める方法。
光散乱法	浮遊粒子状物質測定法の一つ。大気中に浮遊している粒子状物質を空気とともに連続的に吸引し、遮光した検出器内で一定の光束をあて、反射する散乱光の強弱により光学的に測定する方法。
圧電天秤法	浮遊粒子状物質測定法の一つ。水晶振動子は一定の周波数で発振が、その質量が変わると発振周波数が変化することをを用いる。インパクターなどで浮遊粒子状物質を一定周波数で発振している水晶振動子に一定時間付着させることにより、その周波数変化から、浮遊粒子状物質質量を測定する方法。
ベータ線吸収法	浮遊粒子状物質測定法の一つ。低いエネルギーのβ線を物質に照射した場合、その物質の質量に比例してβ線の吸収量が増加する原理を利用して測定する方法。
溶液伝導率法	硫黄酸化物の測定方法の一つ。空気を一定の流速で過酸化水素中に吸収反応させ、空気中の硫黄酸化物を硫酸にし、その濃度により、電気伝導度が変化することを利用して硫黄酸化物の量を連続測定する方法。
紫外線蛍光法	硫黄酸化物の測定法の一つ。紫外線の吸収によって励起した二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )分子から発生する蛍光を利用し、その強度から二酸化硫黄の濃度を測定する方法。
エアサンプラー	大気を吸引し、大気中の粒子状物質をろ紙上にろ過捕集することにより採取する装置で、吸引する流量により大きく次の3種類がある。 ローボリューム・エアサンプラー：空気中に浮遊している粒子状物質の捕集に用いる、吸引空気量が0.01-0.03m <sup>3</sup> /minの大気試料採取用機器。 ミドルボリューム・エアサンプラー：空気中に浮遊している粒子状物質の捕集に用いる、吸引空気量が0.03-0.2m <sup>3</sup> /min程度の試料採取器。 ハイボリューム・エアサンプラー：空気中に浮遊している粒子状物質の捕集に用いる、吸引空気量が0.5m <sup>3</sup> /min程度以上の試料採取器。
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析法	ダイオキシン類濃度分析法の一つ。ガスの各成分を、吸着剤や吸収剤に対する各成分の吸着・吸収の能力差を利用して分離、測定するガスクロマトグラフ法により、pg/gレベルの極微量定量分析が可能な装置。
イオンクロマトグラフ法	塩化水素濃度分析法の一つ。試料ガス中の塩化水素を水に吸収させた後、イオンや極性分子のような電荷をもつ分子を分離するイオンクロマトグラフにより、物質濃度を分析する方法
レーウィンゾンデ	高層気象観測機器のラジオゾンデ(無線機器付気球)の一種で、従来のラジオゾンデが持つ上空の気圧、気温、湿度の観測機能に加え、風向、風速の観測機能が付加された気象観測機器。

用語	説明
GPSゾンデ	高層気象観測機器のラジオゾンデの一種で、レーウィンゾンデと同等の上空の気圧、気温、湿度や風向、風速の観測機能を持つ気象観測機器。GPSゾンデではゾンデの位置データの観測にGPS衛星の測位データが用いられる。
マスコン+移流パフモデル	複数の地上気象調査結果からマスコンモデルによってメッシュ毎の風向風速を解析する。煙突からの排出ガスは、広がりながら、各メッシュの風に流され、拡散し次のメッシュに広がる。これを繰り返すことにより、排出ガスの広がりを予測し、広がりに応じて濃度が求められる。詳細は資料編に記載。
大気安定度	気温が下層から上層に向かって低い状態にあるとき、下層の大気は上層へ移動しやすい。このような状態を「不安定」という。また、温度分布が逆の場合は、下層の大気は上層へ移動しにくい。このような状態を「安定」という。このような大気の安定性の度合いを大気安定度という。 環境アセスメントでは、パスキル(Pasquill)の安定度階級に基づき、風速、日射量及び放射収支量によってA～Fの6階級の大気安定度に分類する。
大気安定度不安定時	一般的な気象条件のうち、大気汚染濃度が短時間で高濃度が発生しやすい、大気安定度がA(非常に不安定)の条件である。
逆転層	水蒸気を含む通常の大気中の空気を上空に移動させたとすると、約6.5℃/kmの割合で温度が低下する性質を持っており、これを中立(状態)と呼ぶが、実際の大気中では時間、場所により大気の温度の分布が上空へ行くほど低くならず、逆に上昇する場合がある。このような現象を気温の逆転といい、逆転の起こっている層を逆転層という。
接地逆転層	逆転層が地表面に設置している状態の逆転層を接地逆転層という。焼却施設に係る環境アセスメントでは、逆転層の下端高度が煙突高以下のものをいう。
上層逆転層	地表付近は逆転層が形成されておらず、上空で逆転層が形成されているものをいう。焼却施設に係る環境アセスメントでは、逆転層の下端高度が煙突高以上のものをいう。
逆転層発生時(リッド)	煙突の上空に逆転層(リッド)が存在している場合であり、煙突から排出された汚染物質の上空への拡散が抑えられることにより、地上において濃度が高くなる条件である。
逆転層崩壊時(フュミゲーション)	接地逆転層発生時に滞留した排出ガスが、逆転層崩壊時に一気に拡散する現象(フュミゲーション)により、地上において濃度が高くなる条件である。
ダウンウォッシュ	煙突高さの風速が、煙突排出ガスの吐出速度の1/1.5倍以上となる場合に、煙があまり上昇せず、煙突の背後の気流の変化によって生じる渦に巻き込まれて降下することにより、地上において濃度が高くなる条件である。
ダウンドラフト	煙突実高さが煙突近くの建物高さの約2.5倍以下になると、排ガスが周辺の建物の空気力学的影響による渦の中に取り込まれることにより、地上において濃度が高くなる条件である。
1日平均値の年間98%値	1年間に測定されたすべての日平均値(欠測日を除く)を、1年間での最低値を第1番目として、値の低い方から高い方に順(昇順)に並べたとき、低い方(最低値)から数えて98%目に該当する日平均値。
1日平均値の年間2%除外値	1年間に測定されたすべての日平均値(欠測日を除く)を、1年間での最高値を第1番目として、値の高い方から低い方に順(降順)に並べたとき、高い方(最高値)から数えて2%分の日数に1を加えた番号に該当する日平均値。
TEQ	毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位。ダイオキシンは、塩素の数及び位置が異なる異性体の混合物として環境中に存在する。毒性の強さは異性体によって異なるため、ダイオキシン異性体の量を単純に合計しても、その数値で毒性影響を評価することはできないため、各異性体の量にそれぞれの毒性の強さの係数(TEF、毒性等価係数)を乗じた値の総和として表わすのが一般的となっている。現在、TEFには2006年にWHOが設定したものが使用されている。

## (2) 騒音・振動・低周波音

用語	説明
等価騒音レベル (LAeq)	時間とともに変動する騒音(非定常音)について、一定期間の平均的な騒音の程度を表す指標のひとつ。通常、騒音レベルは時間とともに変動するため、その評価にあたっては、一定の測定時間内でこれに等しい平均2乗音圧を与える連続定常音の騒音レベルを使用している。騒音レベルのエネルギー平均値といえる。単位はデシベル(dB)である。
時間率騒音レベル (Lx) 時間率振動レベル (Lx)	騒音(振動)レベルがあるレベル以上になる時間が実測時間のX[%]を占める場合、そのレベルをXパーセント時間率騒音(振動)レベルという。量記号はLx、単位はデシベル(dB)である。道路交通騒音(振動)のように時間とともに不規則かつ大幅に変動する騒音(振動)を表すときに広く用いられている。50%時間率騒音レベルL50を中央値、5%時間率騒音レベルL5を90%レンジの上端値、95%時間率騒音レベルL95を90%レンジの下端値などという表現をする。
地盤卓越振動数	大型車の単独走行を対象とし、対象車両の通過ごとに地盤振動を1/3オクターブバンド分析器により周波数分析し、振動加速度レベルが最大を示す周波数帯域の中心周波数を読み取り、これを平均した数値を地盤卓越振動数とする。「道路環境整備マニュアル」(平成元年、日本道路協会)では、「15Hz以下である場合、軟弱地盤と呼ぶ」としている。
低周波音の1/3オクターブバンド音圧レベル	音圧レベルとは、音の圧力(Pa)を基準となる圧力( $2 \times 10^{-5}$ Pa)を基準として表したものである。低周波音の1/3オクターブバンド音圧レベルとは、低周波音を構成している周波数帯を1/3オクターブごとに区切ったときのそれぞれの音圧レベルである。
低周波音の1/3オクターブバンド音圧レベルの中心周波数	低周波音を構成している周波数帯を1/3オクターブごとに区切ったそれぞれの周波数帯における中心の周波数。区切った周波数帯の呼称として使用する。
低周波音のG特性音圧レベル	G特性とは、1~20Hzの超低周波音の人体感覚を評価するための周波数補正特性で、ISO-7196に定められている。周波数補正特性G特性で重み付けられた音圧レベルをG特性音圧レベルという。単位はデシベル(dB)。

## (3) 悪臭

用語	説明
臭気指数	臭気のある気体を、無臭の空気希釈し、臭いが感じられなくなった希釈倍数を臭気濃度といい、臭気濃度の対数を10倍したものを臭気指数という。

## (4) 水質

用語	説明
浮遊物質(SS)	水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の粒子状物質のことで、沈降性の少ない粘土鉱物による微粒子、動植物プランクトンやその死骸・分解物・付着する微生物、下水、工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿物が含まれる。懸濁物質と呼ばれることもある。浮遊物質が多いと透明度などの外観が悪くなるほか、魚類のえらがつまって死んだり、光の透過が妨げられて水中の植物の光合成に影響し発育を阻害することがある。

## (5) 日照阻害

用語	説明
天空図	観測点を中心にした天球上に太陽軌道を写し、これを観測点の水平面に相当する底円上に投影した太陽位置図を作成する。これに建物などの輪郭を太陽軌道の投影と同様の方法で投影し作図したもの。建物の輪郭と太陽軌道が重なった線が観測点における日影となり、観測点の日影時間を評価できる。
天空写真	画角180度の半球全体を写せる魚眼レンズで観測点から天頂に向けて撮影すると天空図と同様の写真を撮影できる。これにより得られる写真は視界に入るすべての被写体が撮影されるため、より実際的な日影の検討ができる。

## (6) 電波障害

用語	説明
BER	一定期間内に送信局から伝送したデータ数(ビット数)のうち、何ビット誤りが発生したかを表す数値。BERが大きくなると電波障害が生じる。

## (7) 植物・動物・生態系

用語	説明
潜在自然植生	人間の影響がなくなった場合に、気候や立地条件から成立するであろう自然植生を理論的に類推したものを潜在自然植生という。
植物社会学的法	調査範囲内に存在する各植物群落を代表する地点において方形区(コドラート:原則として各群落の高さを1辺とする正方形)を設定し、方形区内に存在するすべての植物種を高木層、亜高木層、低木層、草本層等の階層毎に抽出するとともに、各種毎の被度(優占度)及び群度を記録する方法。詳細は資料編に記載。
被度(優占度)	調査区内で出現した各植物種が、どの程度広がって生育しているかを示す尺度。詳細は資料編に記載。
群度	一般に調査区内で出現した各植物種が、どのような分散状態で生育しているかを示す尺度。詳細は資料編に記載。
フィールドサイン法	調査対象地を踏査して、フィールドサイン(糞、足跡、食痕、巣、爪痕等の生息痕跡)を発見し、生息する動物種を確認する方法。
バットディテクター	コウモリを見つけるための超音波の検出器をいう。コウモリは人の可聴域外となる20kHz以上の超音波を発するが、この超音波をバットディテクターにより検出し、周波数によってコウモリの種類を特定する。
ルートセンサス法	あらかじめ設定しておいた調査ルートを歩いて、観察半径50m程度の範囲内に出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して、種別個体数をカウントする方法。
スィーピング法	昆虫採取の方法の一種。捕虫網を水平に振って、草本上や花上の昆虫をすくい取る方法。
ビーティング法	昆虫採取の方法の一種。樹上等の昆虫をたたき棒でたたき落とし、下に落ちた昆虫をビーティングネットで受け取って採取する方法。
ベイトトラップ法	昆虫採取の方法の一種。夜間に白色のスクリーンに光を投射して、誘引される夜行性昆虫を採取する方法。投射光には多くの昆虫類の可視領域に対応した紫外線を発する蛍光管を用いる。
ライトトラップ法	糖蜜や腐肉等のベイト(誘因餌)を入れたトラップ(プラスチックコップ等)を口が地表面と同じ高さになるように埋設して、落ち込んだ昆虫を採取する方法。
定性採取法	底生動物採取方法の一種。調査対象地域の水域全体を対象に、多くの環境でサデ網等を用い、底生動物の採取を行う。
定量採取法	底生動物採取方法の一種。コドラート付サーバーネットを用いて、決められた面積内の個体数、種数を採取することで、底生動物の定量的採取を行う。
上位性	肉食ほ乳類や猛禽類等の食物連鎖の上位に位置する種を上位種といい、その生息種や生息環境に着目した生態系の評価を行うことで、生態系の特性を把握する。
典型性	地域の生態系の特徴を典型的に現す種を典型種といい、その生息・生育種、生息・生育環境と、そこに生息・生育する生物群集に着目した生態系の評価を行うことで、生態系の特性を把握する。
特殊性	小規模な湿地、洞窟、噴気口の周辺、石灰岩地域などの特殊な環境や、砂泥底海域に孤立した岩礁や貝殻礁などの対象地域において占有面積が比較的小規模で周囲にはみられない環境に注目した生態系の評価を行うことで、生態系の特性を把握する。

## (8) 景観

用語	説明
形態率	ある1点からみた建築壁面形態の水平面立体角投射率のことをいい、天空写真中の対象建築物が占める面積の割合と同じである。